



たびだ ひ よ  
旅立つ日に寄せて

こうちょう かじがや ともえ  
校長 梶ヶ谷 朋恵

れいわ ねん がつ にち いのち とうと ひと ひと きずな ふか あらた ところ きざ ひ ひがしにほん  
令和8年3月11日。命の尊さと人と人との絆の深さを改めて心に刻むこの日、東日本  
だいしんさい ねん ふしめ だい かいそつぎょうしょうしよじゆよしき きよこう あ まえ す  
大震災から15年の節目に、第46回卒業証書授与式を挙りました。当たり前のように過ぎて  
いく ひび がいかにたいせつか、しんさい ねんげつ なが いま あたら かどで た ほ ぼ ひょうじょう  
いく日々がいかに大切か、震災から年月が流れた今、新しい門出に立つ晴れ晴れとした表情の  
そつぎょうせい みおく しあわ かん ぶ じ そつぎょうしょうしよじゆよしき お  
卒業生を見送ることができる幸せを感じながら、無事に卒業証書授与式を終えることができま  
した。ご臨席賜りましたご来賓の皆様には、深く感謝申し上げます。今後とも西本郷中学校をよろ  
しく願いいたします。

めい そつぎょうせい ぎ む きょういく お いま そつぎょうしき つた ないよう いちぶ ようやく けいさい  
156名の卒業生が義務教育を終えた今、卒業式で伝えた内容の一部を要約して掲載します。

そつぎょう みな む わたし おお ねが ほんとう いみ じりつ めざ  
卒業する皆さんに向けて私の大きな願いは、「本当の意味での自立を目指してほしい」というこ  
とです。「自立」は何でも一人でできること、誰にも迷惑をかけず頼らずに生きていける力、と考  
えるかもしれません。しかし、いま わたし かんが じりつ ひと じぶんひとり なに  
えるかもしれませんが、今、私が考える「自立した人」というのは、自分一人では何もでき  
ないと自覚していて、たくさんの頼れる先を持っている人です。自分一人でやったつもりのことも、  
むいしき もの ふく おお ひと きさ か こ ひと つく  
無意識のものも含めて、多くの人の支えや過去の人を作ってくれたしくみのおかげでできている、  
と自覚できる人です。

「自立した人」になるためには、私たちが何ができるでしょうか。

たが たす あ きも おも きも しぜん う にんげんかんけい だいじ よわ  
お互いに助け合う気持ちや思いやる気持ちが自然に生まれるような人間関係も大事でしょう。弱  
い自分を認める強さをもつことや、たくさんの挑戦をして、失敗したり 助けられたりした経験をつ  
むことも大切だと思えます。

インターネットやSNS とのかかわりが日常的になっている。さつこん じぶん せんたく肢 やあんしんしていぞん  
る先を増やすためにも、冷静に様々な角度から情報をとらえ、自分の頭で考える力も大切です。  
じりつ めざ なか いま ちゆうがっこう けいけん やく た さき いっしょう  
自立を目指す中には、今までの中学校での経験が役に立ったこともあれば、これから先、一生か  
けて培っていくこともあると思います。たびだ ひび ねが じりつ じぶん じんせい い ところ  
つちか おも おも たびだ ひび ねが じりつ じぶん じんせい い ところ  
から応援しています。

ざいこうせい みな たい ひびねが おな にちじょう いっしゆんいっしゆん たいせつ じぶん  
在校生の皆さんに対しても、日々願っていることは同じです。日常の一瞬一瞬を大切に、自分  
いのち たいせつ まいにち おく おも しんがつき みな あ たの  
の命を大切に毎日を送ってほしいと思います。新学期、皆さんに会えるのを楽しみにしています。